



読書活動日本一の

まちづくりニュースVOL.7

編集：教育委員会読書推進課 発行：平成27年2月1日

❖ 「出水市家読推薦図書」を策定しました！

市内の各小中学校の協力を得て、「出水市家読推薦図書」を策定しました。家読を進めるうえで、どんな本を読めばいいのかわからないという声を耳にし、「家読に適した本の紹介」の必要性を感じ、策定したものです。

家族で「読み聞かせ」をするのに適した本は、絵本なのではないかと考え、市では、「絵本による家読」を薦めています。人は、一生に3度絵本に出会う機会があるのだそうです。1度目は幼い時。2度目は親になったとき。3度目は人生の後半になったとき。同じ絵本でも読む人のその時の心の持ち方で、感じ方が違ってくるものですね。読み返す度に新鮮な感動が生まれ、親から子へ、孫へと読み継がれていくことによって、同じ本を共有する喜びが生まれ、そこから家族の文化が生まれてくるのかもしれない。

乳幼児などの小さなお子さんのいない家庭では、「絵本の読み聞かせ」に初めは抵抗を感じられるかもしれませんが、まずは、「思い出の絵本」から読んでみませんか。その本が、家族の「宝の一冊」になることもあります。家読の参考に「出水市家読推薦図書」をご活用ください。（「出水市家読推薦図書」リスト別紙参照）



❖ 関東ふるさと出水会から寄附をいただきました！

今年度、関東ふるさと出水会から「読書活動に役立てて欲しい」と10万円のご寄附をいただきました。

小学校用の家読推薦図書を低・中・高学年用各20冊、合計60冊を購入することができました。今後それを、各小学校に巡回し、実際に推薦図書を見ていただき、学校図書館の図書購入の参考にさせていただいたり、「読み聞かせ」に利用していただきたいと考えています。

また、「おはなし玉手箱」などの読み聞かせ会でも活用し、地域の皆様にも披露したいと考えています。



中学年用図書



❖ 読書パネルを出水駅のコンコースに展示



毎年、市内の市立小中学校、市立幼稚園、市立高等学校が学校の読書活動を紹介するパネルを作成しています。今年度も11月末に、各校（園）も工夫を凝らした26年度の新しいパネル29枚が完成しました。

帰省客の多い時期には、母校のパネルを見て、思い出話に花を咲かせてほしいという思いで、毎年、出水駅の新幹線コンコースに展示しています。今年度も、12月22日～1月13日まで展示しました。その他の時期には、市役所本庁、市立図書館、中央公民館に展示しています。

14 会場で 実施



西町



石坂 (高尾野)



上村東



上村西



米小 P T A



出養 P T A

いつでもどこでも本とつしよに！
「おはなし玉手箱」

今年度は、育成会、老人会、学校の P T A などいろいろな会場で開催することができました。
また、絵本の読み聞かせ、指遊び、野外ならではのロールシアターなど多彩な演目で楽しい時間を過ごしました。



表郷東



西ノ口団地



福ノ江



下古市



西下り松



蕨島



元町(出水)



上の原(高尾野)